



せんちゃん

会記

令和四（二〇二二）年七月九日（土）

第十七回 茶会『杓底一残水』

文化庁 令和四年度伝統文化親子教室事業

親子茶道教室 茶事『杓底一残水』

御客 ○○ △△ 様

□□ ▽▽ 様

茶席 叡智庵

扁額 『叡智庵』證道來果書

路地（見立て）

立踳据 手水鉢（織部）・竹箴・つくばい柄杓

小堀遠州水琴窟 信樂焼 重藏室 <http://jyuuzou.com/>

設え

本床 軸 福寿康寧

愛新覺羅恒珺書

花 土耳古桔梗、

菊各種、他

花入 魚籠

踏込床 捶撥

花器 信樂焼 尺八 西尾香舟作

土耳古桔梗、紫式部

十三時四十分 躰り口 席入

茶の湯座敷席

風炉 薄茶点前

面取風炉 唐銅 麻生雄芳作

香 梅が香 松栄堂

釜 万代屋（もぎや）釜 佐藤浄清作



ちやーちゃん



せんちゃん

小棗 堆朱(ついしゆ)  
 茶杓 白竹  
 蓋置 竹  
 建水 蓑景(たばこば) 西尾瑞豊作

煉切(手毬)

薄茶 一服

<p>赤楽 早舟              利休七種茶碗 長次郎写し              佐々木昭樂作</p>	<p>京焼 霞桜 小倉寅介作</p>

名水『東京水』 水道水クリンスイ仕立て

<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suigen/topic/02.html>

茶 薄茶『西園の白』 青松園

<https://www.seisyoen1947.jp/tea>

菓子 煉切『手毬』 御菓子司 玉川屋

<http://www.wagashi-tamagawayaya.com/>



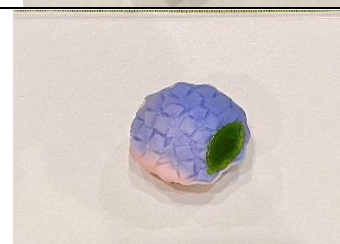
ちやーちゃん

茶会風景





せんちゃん



教室稽古風景(鉄仙、紫陽花、薔薇、青楓)



ちやんちゃん



せんちゃん

独座観念 席主及び客 懇親  
散会

茶会席主 ○ ○ (小二)

半東 ○ ○ (小二)

叡智庵主 證道來果 (湯澤秀昭)

□ □ ▽ ▽

□ □ ▽ ▽

杓底一残水 (しゃくていのいちざんすい)  
汲流千億人 (ながれをくむせんおくにん)

<http://www.soto-kanto.net/>

茶事「杓底一残水」  
主催 叡智得留俱樂部

[http://www.oycg.co.jp/hlclub/hlc\\_summary.html](http://www.oycg.co.jp/hlclub/hlc_summary.html)

<https://groups.google.com/forum/?hl=ja#forum/hl-club>

五条衣 偈 在家得度

證道來果居士

百尺竿頭進一步

十方刹土現全身

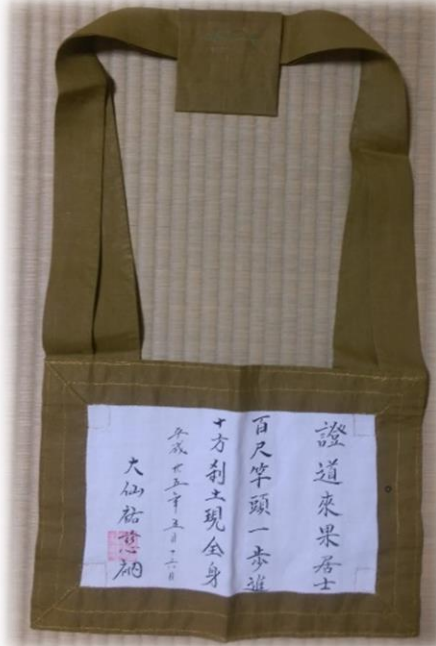
平成貳五年五月十六日

大山祐慈納

<https://www.sotozen-net.or.jp/ceremony/special/tokudoshiki>

<https://zengo.sk46.com/data/hyakusyarakukanto.html>

<http://kohgetsuji.justipbs.jp/oresanokai.html>



ちやーちゃん



## 茶事「杓底一残水」の目的

- 一、茶事を通し「杓底一残水（しゃくていいちざんすい）」、より多くの方が幸せ「汲流千億人（ながれをくむせんおくにん）」になり、自己も幸せを感じることに、
- 二、誰でもが一人でも気軽に流派、形式にこだわらず、和の総合伝統文化「茶事（ちゃじ）」を催す
- 三、「茶道（ちやどう）」を身に付け、グローバル社会で和（日本ではない）の伝統文化を語り、所作が出来る

## 知足

紛争地では多くの市民、子供が命からがら逃げ廻っている。それらを多くのジャーナリストが命を掛け、世界から情報を発信している。そして、命を落としている。それらの情報を私たちはどのように受け止め、そして・・・？

## 名水「東京水」

日本では水道の蛇口を開けば、清潔な美味しい水が簡単に飲める。しかし、世界では飲み水が無い、入手できても清潔でない、未だに水汲みをせざるをえない地域が多くある。我々は如何に幸せなことではな

## 食物

日本では近隣のお店で、多種多様な食物を簡単に入手できる。世界では未だに、食物が足りず、今、命を落としている人が多く居る。

反面、肥満で生活習慣病になる人、食べ残し、賞味期限切れで多くの食物が廃棄される現実がある。これは何なのか？

## 杓底一残水

今日、食べ、楽しめた人が、「一残水」を川の流れに戻す

## 汲流千億人

戻した流れを今、世界の飢えている人々に確実に流し、生活環境を作る

## 茶事「杓底一残水」

この流れを確実にする仕組み作りをし、底上げを確実にする活動

